



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東
 コード番号 4345 URL <http://www.cts-h.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,139	8.8	368	18.8	362	20.4	245	20.4
2019年3月期第1四半期	1,967	△2.9	310	△6.9	301	△6.5	203	△7.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 248百万円 (25.1%) 2019年3月期第1四半期 198百万円 (△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.75	—
2019年3月期第1四半期	4.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,299	7,112	62.9
2019年3月期	12,057	7,120	59.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 7,112百万円 2019年3月期 7,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,530	5.6	790	6.0	767	5.6	540	9.3	12.65
通期	9,500	10.3	1,740	9.4	1,700	9.0	1,200	12.5	28.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	43,400,000株	2019年3月期	43,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	720,845株	2019年3月期	720,845株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	42,679,155株	2019年3月期1Q	43,394,763株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境につきまして、公共投資・民間投資ともに底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2019年3月期から2021年3月期までの3ヵ年を対象にした中期経営計画を策定いたしました。当社グループは建設ICTの専門企業として、その中核となる中期経営方針に下記の4項目を掲げ、この方針を基に事業を着実に展開してまいりました。

- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大
- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・建設ICTの独自商品・サービス強化及びシェア拡大
- ・営業体制・機能の強化による生産性向上及び市場開拓

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,139百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は368百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

注力事業の建設ICT（システム事業・測量計測事業）においては、新規顧客開拓等を積極的に進めた結果、当事業の売上高は1,695百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

利益面では、売上高の増加により、売上総利益が766百万円（前年同期比8.1%増）と堅調に推移しました。建設ICT（システム事業・測量計測事業）への人員増加策及び処遇改善による人件費の増加などにより、当事業の販売費及び一般管理費が463百万円（前年同期比5.7%増）となりましたが、売上総利益の増加により営業利益は303百万円（前年同期比12.1%増）となりました。その結果、グループ全体としては、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

▼当社グループ

(単位：百万円、%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比
売上高	1,967	2,139	8.8
営業利益	310	368	18.8
営業利益率	15.8	17.2	1.4pt
経常利益	301	362	20.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	203	245	20.4

▼建設ICT

(単位：百万円、%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比
売上高	1,556	1,695	8.9
営業利益	270	303	12.1
営業利益率	17.4	17.9	0.5pt

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<システム事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用のモバイル回線を中心に、業界に特化した入出力機器・サービス等（MF P・ネットワークカメラ等）のレンタル・販売に関して、新商品・サービスの拡充等による商品力の強化、新規顧客の開拓等を積極的に展開した結果、受注を順調に確保することができ、当事業の売上高は884百万円（前年同期比12.2%増）となりました。利益面は、中期経営計画に基づく積極的な人員増加策に伴う人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。売上高の伸長と売上総利益率の向上により売上総利益が増加し、セグメント利益（営業利益）は182百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

<測量計測事業>

当事業につきましては、測量機器及び計測システム等のレンタル・販売に関して、国土交通省が推進するi-Construction対応工事の需要等により販売が堅調に推移したことから当事業の売上高は810百万円（前年同期比5.6%増）となりました。利益面は、ワンマン測量システム等のレンタル売上高の増加に対し、測量機器販売の増加が大きかったことから、売上総利益率が低下しましたが、営業活動の効率化により、販売費及び一般管理費が前年同期を下回り、セグメント利益（営業利益）は120百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

<ハウス備品事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用ユニットハウス及び什器備品等のレンタル・販売に関して、既存顧客への営業等を積極的に展開しましたが、シェア確保に伴う厳しい受注競争によるレンタル単価下落等により、当事業の売上高は258百万円（前年同期比3.1%減）となりました。利益面は、レンタル原価、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、セグメント利益（営業利益）は40百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

<その他>

その他につきましては、売上高は186百万円（前年同期比29.1%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同期比159.4%増）となりました。

▼セグメント

（単位：百万円、%）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	前年同期比
システム事業			
売上高	788	884	12.2
セグメント利益	161	182	13.1
セグメント利益率	20.5	20.7	0.2pt
測量計測事業			
売上高	767	810	5.6
セグメント利益	108	120	10.5
セグメント利益率	14.2	14.8	0.6pt
ハウス備品事業			
売上高	266	258	△3.1
セグメント利益	30	40	35.0
セグメント利益率	11.3	15.8	4.5pt
その他			
売上高	144	186	29.1
セグメント利益	9	24	159.4
セグメント利益率	6.6	13.3	6.7pt

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,299百万円となり、前連結会計年度末と比較して757百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が424百万円、リース資産が160百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は4,186百万円となり、前連結会計年度末と比較して749百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が364百万円、未払法人税等が175百万円、リース債務（固定）が121百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は7,112百万円となり、前連結会計年度末と比較して7百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益245百万円を計上した一方で、剰余金の配当256百万円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は62.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結会計期間の業績が概ね計画通りに推移しており、2019年4月26日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,243	5,818
受取手形及び売掛金	1,543	1,448
たな卸資産	763	669
その他	140	138
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	8,683	8,069
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	1,614	1,454
その他（純額）	1,545	1,543
有形固定資産合計	3,160	2,997
無形固定資産	43	59
投資その他の資産		
その他	170	175
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	169	173
固定資産合計	3,373	3,230
資産合計	12,057	11,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	789	425
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	293	118
その他	1,767	1,677
流動負債合計	3,850	3,221
固定負債		
リース債務	937	816
その他	147	149
固定負債合計	1,085	965
負債合計	4,936	4,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	425	425
資本剰余金	2,399	2,399
利益剰余金	4,721	4,710
自己株式	△460	△460
株主資本合計	7,085	7,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	37
その他の包括利益累計額合計	34	37
純資産合計	7,120	7,112
負債純資産合計	12,057	11,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,967	2,139
売上原価	1,114	1,214
売上総利益	853	925
販売費及び一般管理費	543	556
営業利益	310	368
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取地代家賃	0	0
その他	0	1
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	10	8
営業外費用合計	10	8
経常利益	301	362
税金等調整前四半期純利益	301	362
法人税、住民税及び事業税	89	108
法人税等調整額	7	8
法人税等合計	97	117
四半期純利益	203	245
親会社株主に帰属する四半期純利益	203	245

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
四半期純利益	203	245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	2
その他の包括利益合計	△5	2
四半期包括利益	198	248
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	248
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	788	767	266	1,823	144	1,967	—	1,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	788	767	266	1,823	144	1,967	—	1,967
セグメント利益	161	108	30	300	9	310	—	310

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	884	810	258	1,953	186	2,139	—	2,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	884	810	258	1,953	186	2,139	—	2,139
セグメント利益	182	120	40	343	24	368	—	368

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。